

## 4 災厄の時代

## II 南海大地震

## 南海大地震

一九四五年八月一五日、終戦を迎え、新たな都市づくりを始めた矢先の翌四六年  
一二月二一日午前四時一五分、マグニチュード八・〇、震度六の烈震が高知県などを  
襲った。高知市内は前年の大空襲の戦災を免れた東部方面で家屋の倒壊が著しく、葛島橋かづらぶし附近の堤防  
に大亀裂を生じ、高潮の時刻に堤防を破壊して海水が入り込んだため、この方面はたちまち水浸しと  
なった。高知市の被害は、死者二三名、負傷者三三四名、倒壊家屋一一〇五戸、半壊一九五七戸、  
浸水家屋一八八戸、罹災者は二万四〇五名を数えた。